

女性部ニュース

小海支所女性部の冬、季学習会に参加して

小海支所女性部副部長 井上 みつ子

小海支所女性部では、2月3日に支所会議室で冬季学習会を開催しました。

学習会では、佐久総合病院本院心臓外科の白鳥一明部長を講師に招いて「知ってください下肢静脈瘤のこと」と題して、下肢静脈瘤についての講演をしていただきました。

下肢静脈瘤とは、足の血管の病気で静脈が瘤のようにふくらんだ状態をいいます。立っている時に血液が足に戻ってしまふのを防ぐ静脈弁が壊れると、血液が逆流して静脈に血液がたまりまふ。この状態が長く続くと、静脈の壁が引き延ばされて太くなり、蛇行して瘤になります。下肢



静脈瘤は、見た目が悪くなるだけでなく、汚れた血液が足にたまり、静脈の中の圧力が高くなることによる炎症によって様々な症状が起こります。古くは、古代エジプト人にも病歴があったそうです。症状は、ほとんどがふくらはぎに起こり治療法は、「保存的治療」「硬化療法」「手術」「血管内治療」の4つがあります。治療にはそれぞれメリットと注意点があるので、佐久総合病院では一人ひとりの症状に合わせて最適な治療を考えてくださるそうです。

講義の後半には、白鳥先生がギターを演奏しながらすばらしい歌声を披露してくれました。「シクラメンのかほり」や映画「ロミオとジュリエット」の挿入歌のほか、先生が作詞作曲された「お父さんありがとう」を聞かせてくださいました。幼い頃のお父さんとの思い出を歌詞にした曲で、スケート靴の紐を結び直してくれたエピソードなど親子の温かい情景が目につかぶ歌でした。最後に参加者全員で、「白いブランコ」を合唱して、とても温かい雰囲気の中、冬季学習会となりました。

白鳥先生には、参加者からの多くの質問にやさしく答えていただき、本当にありがとうございました。白鳥先生に尊敬と感謝を申し上げます。